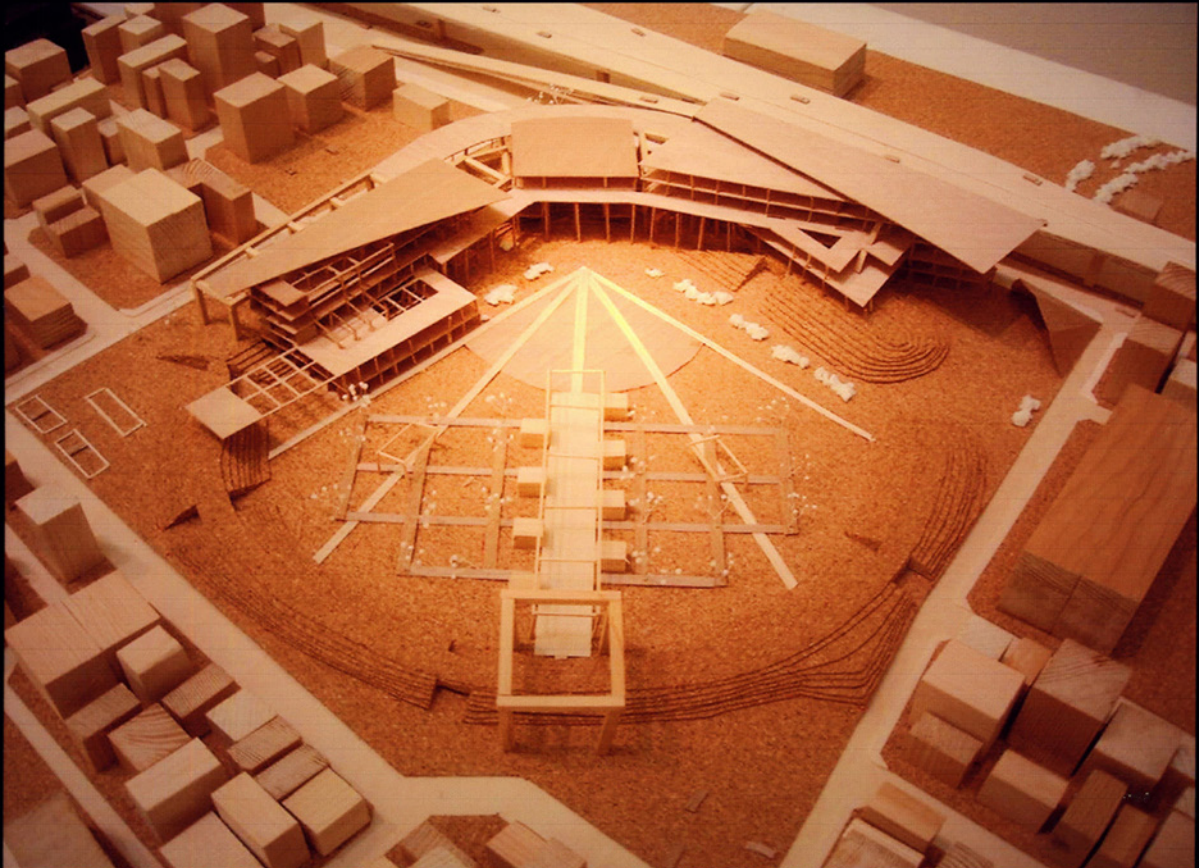


夢を引き継いで ～芸術文化による日生球場跡地再生～ 401753 Ryotaro Suto



日生球場は、プロ野球の試合や高校野球の地方大会などに使われ、観客は夢や楽しみを与えられてきた。しかし、現在は、閉場となり人々にとって無縁の敷地となってしまった・・・。

かつての野球文化のように、人々に夢や楽しみを与えられる場所を生み出す必要がある。そこで、新たに「芸術文化施設や芸術文化専門学校」等を提供することで、人々に夢や楽しみを与えたり、与えられたりできる場をつくる。

現在、球場のスタンドの盛土のみが残っている。かつての野球文化の足跡を残すため、また、人々にとって特別な場所であったため、この盛土を利用する。さらに、新たに建物を建てて、盛土と絡ませることなく、古いものから新しいものへと夢を引き継がせる。





### 敷地設定

**計画敷地**

- 所在地：大阪府中央区森之宮
- 用途地域：第2種住居専用地域、準防火地域
- 敷地面積：33,285㎡ 容積率300% 建築率80%
- 延床面積：15,560㎡ (芸術文化複合施設7,257㎡)
- 球場歴史回廊施設3,000㎡ 芸術文化専門学校5,303㎡

### 広域地図

この地域は、大阪城や難波宮などがあり歴史のある街である。また、大阪府庁や大阪府警など中心機関があり行政の中心部でもある。

### Site Plan S=1:1000

敷地は、中央大通を挟んで南側に位置し、周辺は、雑居ビルやマンションが混在した場所である。大阪市内に3.3haにも及ぶこの敷地は、球場であった時、都市に大きく影響を与えてきた。

### かつての試合風景

平日のナイトゲームを中心に大阪市内という立地の良さから仕事帰りで気軽に行ける球場として活躍した。周辺は建物が建て込んでいる。

### 現在

敷地の一部は、マンションのモデルルームや駐車場として利用。スタンドの盛土のみが残っている。

### 日生球場の歴史

- 1950年 日生球場が開場。近鉄バッファローズの本拠地であった。
- 1984年 藤井寺球場に近鉄バッファローズの本拠地が移り、準本拠地となる。しかし、大阪地方の高校野球などで活躍。
- 1997年 大阪ドームができたということもあり、閉場となる。

日生球場の変遷 1950 ←

→ 2005



夢を引き継いで 2

### 問題点

- 球場が閉場してから、地域の人はこの土地に無縁になってしまった。
- 大阪市内に3.3haにも及ぶ大きな敷地に一部、マンションのモデルルームや駐車場として利用されているものほとんど放置された状態である。

### 提案

- 新たに、夢や楽しみを与えたり、与えられたりできる施設を造る。  
⇒ 芸術文化専門学校・芸術文化複合施設・球場回廊施設
- かつて、夢や楽しみを与えてきた球場の名残を残す。  
⇒ 盛土を残し、盛土の法面をデッキにしたり天辺を道として利用する。
- グラウンドは建物をあまり建てず、広場や公園のような密しの空間を造る。また、そこに芸術作品を飾ったり、何気に芸術に親しめるようにする。  
⇒ 屋外ギャラリー、屋外パフォーマンス広場

### ① 芸術文化専門学校

- グラフィックデザインコース
- ファッションデザインコース
- 映画制作コース
- 造形制作コース
- ディスプレイデザインコース
- ミュージックコース

⇒ 夢や楽しみを与えられるクリエイターの育成。また、都市の中心に表現の場所を与えることで、社会や都市に關して意識させるクリエイターを育成。

### 芸術文化複合施設

5F CATV局、FMラジオ局  
4F IT情報発信局、ギャラリー、ネットカフェ  
3F 図書室等、レストラン  
2F 児童図書室、店舗  
1F 店舗、レストラン

⇒ 芸術文化に親しむ。また、CATV等は、パフォーマンス広場での学生や歌手などの演奏をすぐに放送もできる。

### 球場歴史回廊施設

回想アトリウム・レストラン・カフェ  
球場歴史ギャラリー

⇒ 球場の歴史を感じる。

### ②

現在、スタンドの盛土が寂しく残っている・・・

かつて使われたスタンドの盛土を生かす・・・

### ③ 屋外ギャラリー

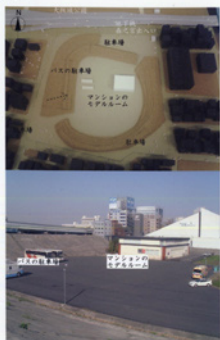
一般市民は、芸術に親しみ、学生は、アトリウムなどで授業の一環として利用。また、ディスプレイなどは、学生が考えられる場も提供。

### 屋外パフォーマンス広場

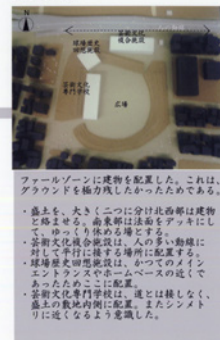
学生が音楽を演奏したり、歌手がここで歌ったり、発表する場を提供。目撃されないときは、パトミン等遊べる場もある。

— Design Program —

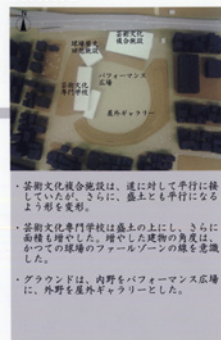
現状



Process I



Process II



完成



広場に關して、屋外ギャラリーは木をグリッド状に配置した。これは、広場が大きすぎると使いにくいのである。またヒューマンスケールを考慮した。また曲線を持つ盛土に対して直線のグリッドを使うことで対比させた。

図面に、学校が屋外ギャラリーやパフォーマンス広場を利用するなどそれぞれの建物と屋外とリンクしている。

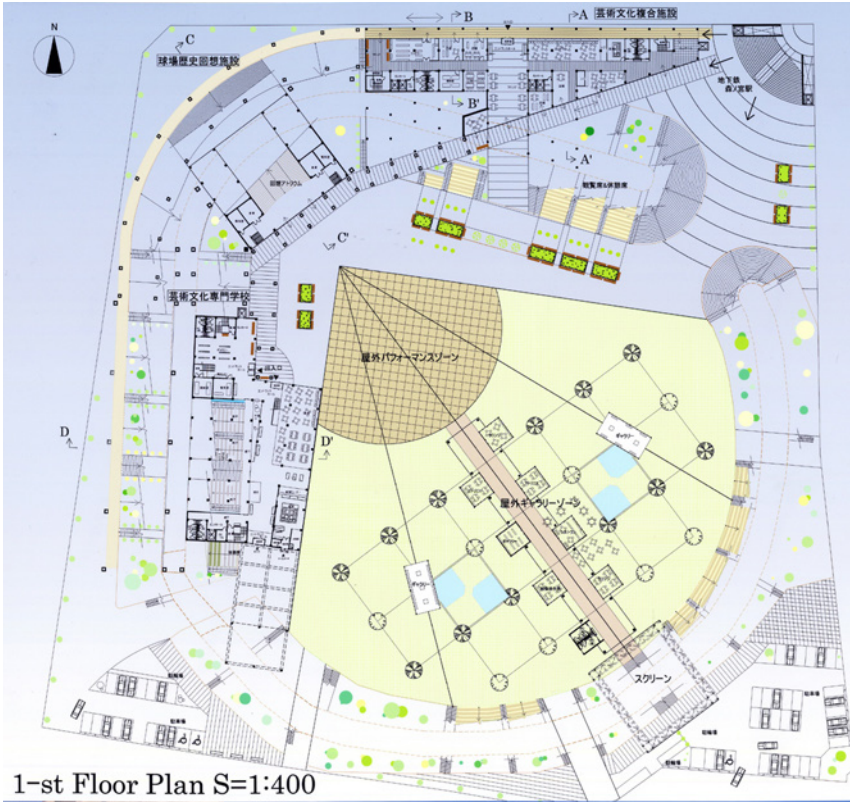
地下鉄利用者の動線も考慮し、建物に沿って、人が中に誘われるように考えた。

特に専門学校は奥にあるので、この動線が多いと思われる。また芸術文化複合施設もそれを考慮に入れた形とした。

特に庭が張り出しているのは、中に誘われるように意識した形である。

夢を引き継いで 3





1-st Floor Plan S=1:400



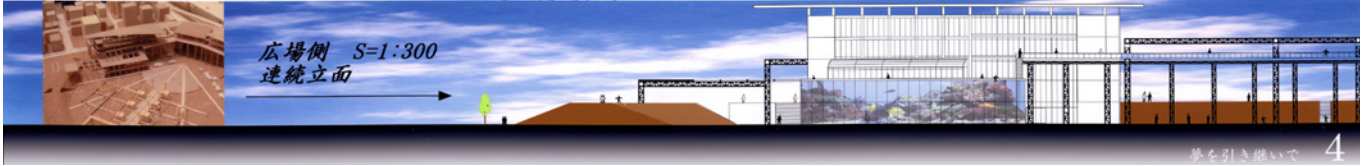
**屋外ギャラリーのストリート**

芸術文化専門学校の学生がアトリエで作業ができる。授業の一環で利用。また、一般市民も利用できる。

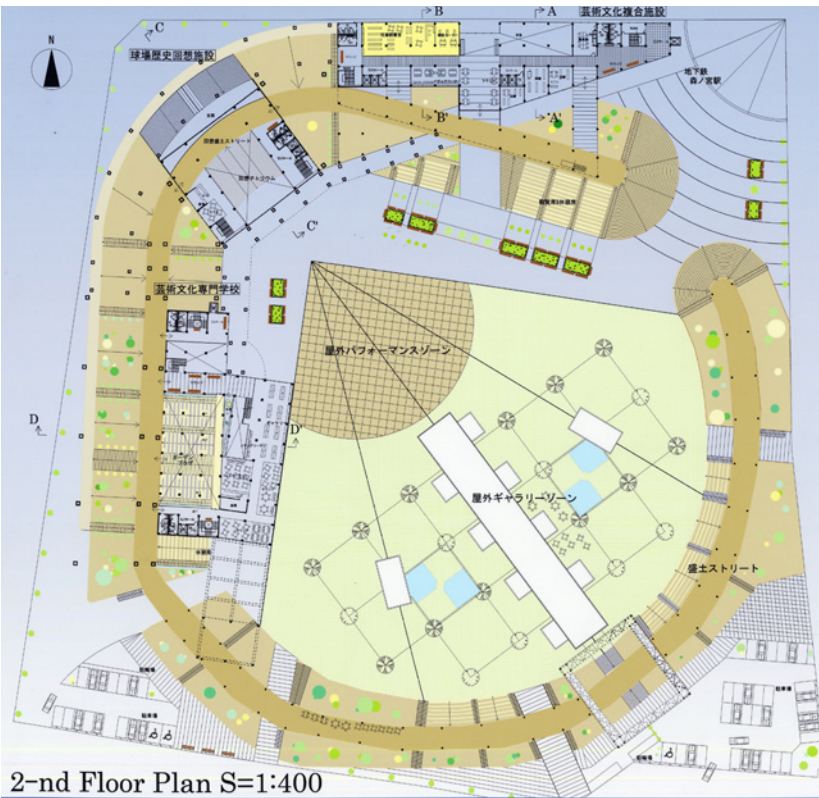


**屋外パフォーマンス広場 (イベント時の風景)**

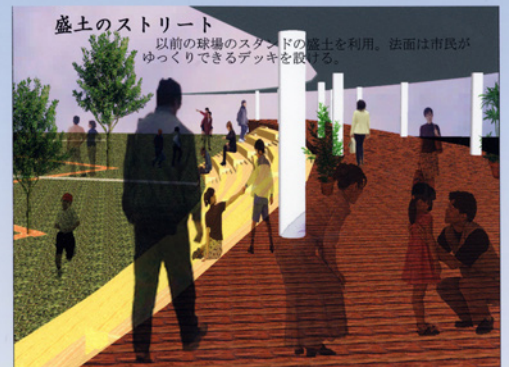
イベントで芸術文化専門学校の学生が演奏したりできる。また、一般市民のイベントができたり、サーカスのテントが設置できたり、フレキシブルに利用できる。



広場側 S=1:300  
連続立面



2-nd Floor Plan S=1:400



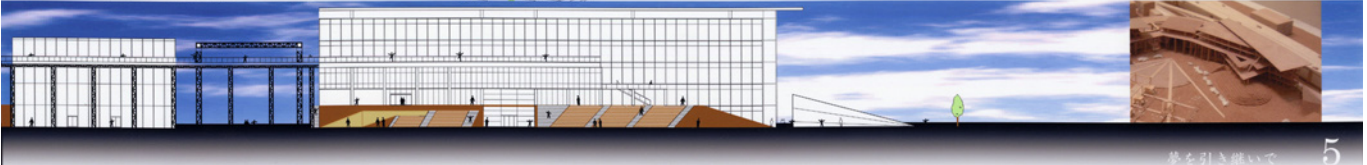
**盛土のストリート**

以前の球場のスタンドの盛土を利用。法面は市民がゆっくりできるデッキを設ける。



**屋外ギャラリー風景 (普段の風景)**

球場歴史回想施設の4Fから南を見た風景。





3-rd Floor Plan S=1:400

4-th Floor Plan S=1:400

屋外パフォ  
—マンス広場  
以前の内野の範囲。専門  
学校生が音楽を演奏したり、  
歌など歌ったりできる。目  
次は、並び  
幅としての空間である。

屋外ギャラリー  
学生がアトリエで制作  
した作品などを制作  
する。授業の一環  
として使用する。本  
木の遊べ方はグラス  
ドとし、大きな敷  
地を分断すること  
でヒューマンスケール  
になるようにした。  
一般市民も屋外ガ  
ラリーに入り込むこ  
とで自分を見つめ  
たり、ゆったり  
できるスペースを  
提供する。

トラス構造

4th Floor Plan S=1:400

敷地南側にトラス構造をつくり、ガラス張りを取り  
付け、映像を映し出す。以前、ここには野球のスク  
リーンがあった場所である。映像が映し出されること  
で人が見て驚き、感動をして、広場や都市に新しい風  
景をつくる。イベント時にも利用する。また、学生が、  
映像を考え、授業の一環として利用する。

屋外シアター  
一般市民や学生など  
映画や映像を見て  
楽しむことができる。

芸術文化専門学校  
映画制作コース

North Elevation S=1:300

夢を引き継いで 6

5-th Floor Plan S=1:400

球場歴史回想施設の回想アトリウム

球場歴史回想施設の回想アトリウム内のスクリーン

スクリーン OFF 状態

スクリーン ON 状態

1Fから2Fを見上げた時の風景

かつてのグラウンドは屋外ギャラリーで、屋外  
パフォーマンスとなり、眺めることができる・・・

時には、かつての野球風景がガラスに映し出され、  
以前の野球を思い出すことができる。これにより、  
かつて、選手しか入れなかったグラウンドに誘い出す。

West Elevation S=1:300

夢を引き継いで 7



